

「食欲・食べる・食物選択要因の形成」の概念図を深読み、進化を！

「食生態学」の実践・研究の基礎にしてきた食行動や食環境に関する概念や図が、今「健康日本21（第2次）」や「第3次食育推進基本計画」をはじめ、全国的に取り上げられ、活用の輪が広がっています。とてもありがたいことですが、一方で発案者・推進母体として、正しい理解と内容の充実をすすめる社会的責任が大きくなっています。

そこで、今まで使ってきた概念図の深読みをし、深化・進化し、より多くの人々と共有する親化をめざしたいと思います。食生態学基礎講座（6回シリーズ）を2006～2007年に開催してから10年を経過し、再開を求める会員の声に応える企画になりました。

(1) 基調講演：ポジティブ心理学から見た「人間の食欲・食べる・食物選択要因の形成と循環」（90～120分）

講師：島井哲志氏（関西福祉科学大学心理科学部教授、博士（医学））

ポジティブ心理学を健康教育や公衆衛生学分野へ導入され、研究や人材養成で活躍されている第一人者です。

(2) 参加者の活用事例報告・質疑・討論：食生態学実践・研究で求めてきた「人間の食欲・食べる・食物選択要因の形成と循環」

座長：足立己幸（NPO法人食生態学実践フォーラム理事長）

女子栄養大学名誉教授・名古屋学芸大学名誉教授

（島井教授も参加していただきます。90～120分）

(3) 課題の整理：深読み、進化、親化のための課題（足立己幸、20分）

参加者：原則としてNPO会員。10～20名

当日に次の準備をして参加してください。

- ①「食生態学 実践と研究」第10号記念号4～7ページの巻頭言を通読します。
- ②7ページの図C「食欲・食べる・食物選択要因の形成の循環図」の全部または一部を活用した、実践や研究の事例を、A4版1枚ぐらいい書いてきてください（メモでよい。論文や教材等で公表している場合は、実物とその要旨でよい）。
- ③島井哲志著「幸福（しあわせ）の構造」（有斐閣刊）を読むと、ポジティブ心理学のコンセプトや方法論について、理解しやすいと思います。

● **日時：**2017年11月5日（日）13:00～17:00 2回シリーズの予定

● **会場：**日本女子大学 100年館 11階 家政経済学科合同ゼミ室（添付地図参照）

【参加費】 会員 2,000円 非会員 3,000円

【申込方法】 下記、申込用紙にご記入のうえ、メール又はFAXでお申し込みください。

<主催> NPO法人 食生態学実践フォーラム

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-16-10 コーポ小野 202

Tel & Fax: 03-5925-3780

E-mail: forum0314@angel.ocn.ne.jp

NPO法人 食生態学実践フォーラム「食生態学講座 2017」申込書

NPO法人 食生態学実践フォーラム
Fax:03-5925-3780

申込み締めきり 10/23(月)

11月5日(日) NPO 法人食生態学実践フォーラム「食生態学講座 2017」

「食欲・食べる・食物選択要因の形成」の概念図を深読み、進化を！

11/5・NPO 法人食生態学実践フォーラム「食生態学講座 2017」(13:00～17:00)に
出席します。

賛助会員 法人賛助会員 学生会員 非会員 学生非会員

氏名(フリガナ)

連絡先住所
〒

TEL

FAX

E-mail

NPO 法人食生態学実践フォーラムや今回の食生態学講座への質問やご希望等があればお書きください。

NPO 法人 食生態学実践フォーラム)のホームページ をご覧いただいていますか？
また、「『子ども食堂』食のQ&A」のページがあるのをご存じですか？